

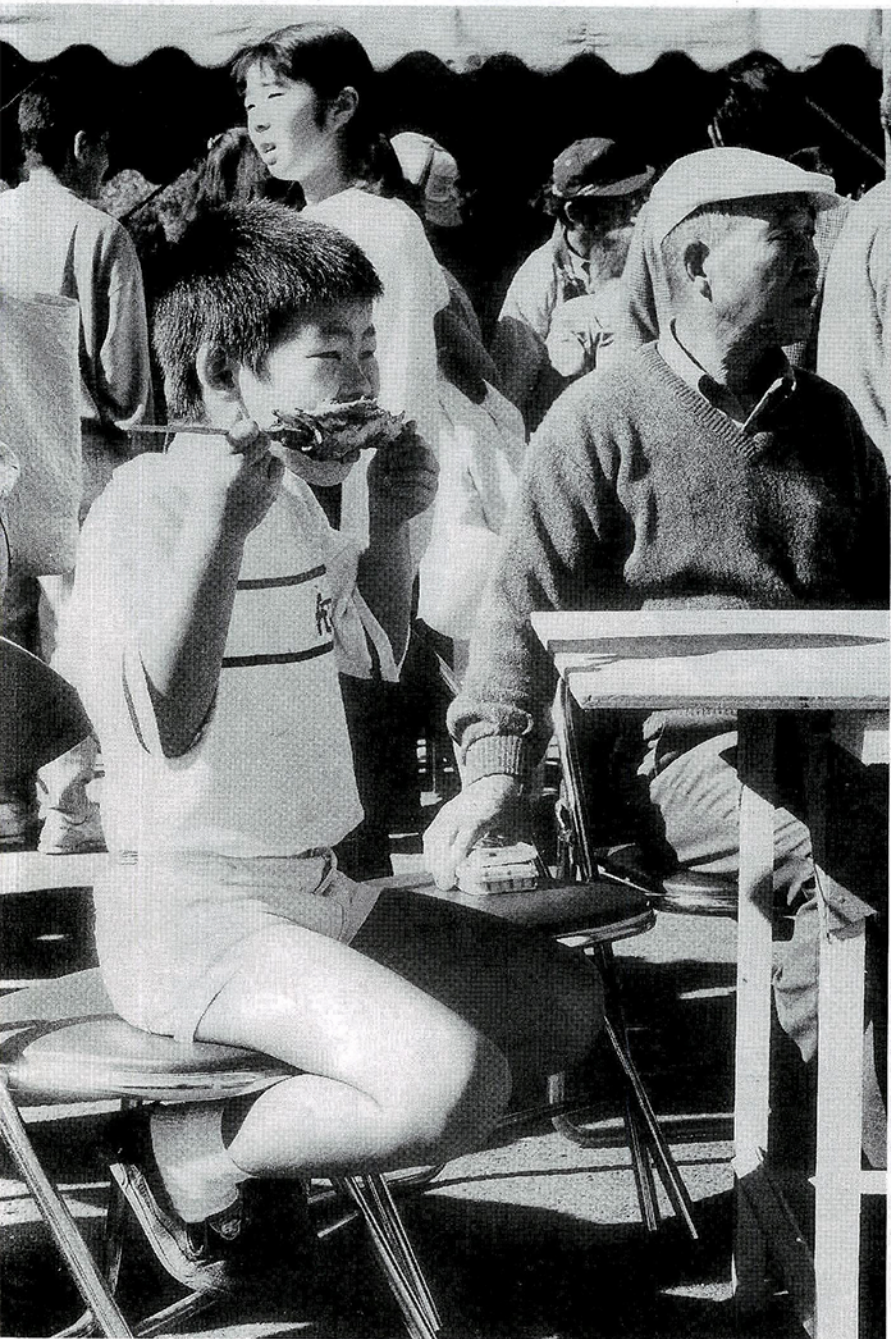
市報

たかはぎ

12月号 '89 No. 358
平成元年12月5日発行

市民憲章

- 一、自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう
- 一、きまりを守り、明るいまちをつくりましょう
- 一、礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう
- 一、元気で働き、豊かなまちをつくりましょう
- 一、思いやりのある、あたかいまちをつくりましょう



▲バクリ、う〜ん…うまい！ 魚の塩焼きに舌鼓

大盛況

常陸牛の ステーキコーナー

十一月十八日(土)、十九日(日)の両日、市民体育館と中央公民館周辺で、第十回高萩市産業祭と第十八回みんなの消費生活展が開かれ、家族連れをはじめ、県内からたくさんの方が会場を訪れ、二日間で約二万五千人を超える大盛況をみせました。

この日は、市内で生産された常陸牛の牛肉やみそ漬け、手づくりハム、コンニャクなど食料品、日用雑貨、工芸品などの展示即売会が行われ、人気を集めました。

(八ページに続く)



▲自分で焼いた常陸牛のステーキは最高！
思わず笑顔がこぼれて……

主なもくじ

2〜3…市制施行35周年記念式典を挙

行、秋の叙勲

4……〈フォト〉第13回全国育樹祭

5……松岡の歴史—⑧、市長随想

6……高萩市の生んだ作家たち—⑬

8……第10回高萩市産業祭と第18回
みんなの消費生活展

祝 高萩市制施行35周年記念式典



受賞者を代表して謝辞を述べる
小山政男さん



式辞を述べる
鈴木市長



市民代表あいさつを述べる
根本議長



市長から名誉市民の称号を贈る

名誉市民

市制施行三十五周年記念式典が、十一月二十二日(水)文化会館で行われ、市勢発展に尽力された鈴木一司さん(92)に名誉市民の称号が贈られ、二百二十二人(含団体)にそれぞれ功労表彰、感謝状が鈴木市長から贈られました。

この記念式典には、衆参両院議員、県議会議員、茨城県、隣接市町村、山形県新庄市などから関係者約七百人が参加して盛大に挙行されました。

市制施行三十五周年

記念式典を挙行

式辞では、鈴木市長が「高萩市は二十一世紀を展望して策定された『海と緑を生かした産業文化都市』をめざした新総合計画に基づいて、諸施策が進行中であり、常磐自動車道の開通とともに、本市のもつすぐれた立地条件を生かして、国・県、民間活力の協力による新しいリゾート都市としての期待が高まりつつあります。市民のみなさんのご理解と参加を得て、さらに努力を重ねていきたい」とあいさつしました。



あいさつをする
鈴木一司さん

十一月九日(木)の臨時市議会では、高萩市の名誉市民の第一号に、日本獣医師会名誉顧問、元参議院議員の鈴木一司さん(92)（＝本町）が満場一致で選ばれました。

特産黒毛和牛などの農林畜産振興と国政・県政を通じ市の発展に貢献されたことが選定の理由で、

二十二日(水)の市制施行三十五周年記念式典の席上、名誉市民の称号が贈られました。

鈴木さんは、明治三十年二月に市内大能で生まれ、青森県立畜産学校を卒業後、獣医として高萩の畜産を「馬から牛へ」と転換を図り、「高萩馬市」にかかわって「高萩牛市」を有名にしました。

さらに、昭和二十二年から県議会議員四期、県議会議長を経て、昭和三十八年から参議院議員一期を務め、昭和二十八年には、県議会議長及び町村合併促進協議会会長に就任され、当時三百六十五も

あった市町村を九十余にまとめ合併を推進された功労などから、昭和五十九年に勲三等瑞宝章を受賞されています。

表彰者

市勢発展に尽力された功績により、記念式典で表彰されたかたがたは次のとおりです。

(順不同、敬称略)

地方自治功勞表彰

大高省三、吉田秀吉、鈴木好之、り、勲四等瑞宝章を受章されました。

勲の叙

おめでとう
ございます

勲四等瑞宝章

大和田幡市郎さん

有明町1-61



元茨城県立松丘高等学校校長の大和田幡市郎さん(七十歳)は、永年、教育界に尽力された功績によ

大和田さんは、昭和十六年から五十四年に至る三十八年余り、学校教育の充実に努力され、昭和四十七年からは県立常北高等学校校長、昭和五十年から県立松丘高等学校の初代校長に就任、教育の振興・発展に多大な功績を残されました。その後、約八年間、私立高等学校の理事などを務められ、私学教育にも献身的な努力を払われました。

また、昭和二十四年以来、県高等学校体育連盟ラグビー部専門委員長に就任し、スポーツの普及を図り、社会的にも多大な功績を残されました。

教育・文化・体育功勞表彰

棚谷立夫、鈴木重光、大高德次、大久保清、小田木真一、下山田一郎、安村 實、村田正巳、佐川安應、根本 榮、鈴木一二、鈴木 茂、飯田邦昭、篠原新一郎、寺岡七郎、大部勝央、矢代洋三、鈴木徳男、郷土行男、渡辺賢太郎、鈴木本成、鈴木一慧、作山榮一、佐川弘巳、柴田正巳、神長良道、安島松夫、大部昭雄、鈴木 榮、大都貞喜、今橋昌雄、柴田英利、佐川 元、沼田才介、益子泰治、藤井 實、横山西二郎、柴田宗次、佐川 貫、児玉正治、寺島正男、坂本二郎、石安太郎、鈴木百合子、黒沢正明、沼田克道、鈴木幸内、棚谷 寛、根本 昇、佐川順一郎、吉川文隆、小林惺二郎

治安・防災功勞表彰

穂積政次、沼田 浩、鈴木健二、伊藤克紹、浅井正一、荒川義次、大和田信明、川井善見、大部良雄、渡辺 満、下山田慶将、割ヶ谷秀夫、浅川徳男、松本昭敏、鈴木裕人、皆川文男、斉藤 忠、斉藤 東、神代久信、下山田至平、坪和幸次、鈴木康正、金沢三郎、鈴木伸可、佐川福徳、佐川七郎、松本一郎、松本勝蔵、佐川精一、弓野重春、大部陽一

地方自治功勞表彰(職員)

金沢 勲、武藤守男、大都直教、大高五郎、神代光男、沼田 榮、大部浩志、中野里士、渡辺清子、今川 誠、林 泰治、田中茂美、大越 隆、江尻 寛、沼田有功、木村 進、中島栄子、坂本次男、

渡辺俊也、松本弘文、高野忠信、梅原友寿、高橋一也、鈴木文彦、喜多村幸子、芳賀博行、愛川好美、小田倉直子

感謝状

中井盛雄、舟生佳紀、明智健一、金沢典胤、吉川多喜子、和田 和、白土 弘、安戸昭夫、立花隆成、諸原英雄、石 邦輔、滝 宗章、茨城県厚生農業協同組合連合会、高萩協同病院、廣木仙也、瀬谷義彦、黒沢光壽、江尻光昭、石 照、箕川哲之助、林崎和子、樫村長次、柏義夫、志田諄一、城戸夏男、山崎猛、高萩地区更生保護婦人会、高萩市観光協会、松久保及び手綱工業団地経営協会、高萩ロータリークラブ、高萩ライオンズクラブ、高萩市建設業協会、高萩市指定管工事協同組合、高萩市金融団、高萩国際交流の集い実行委員会、(社)高萩青年会議所、高萩市青年団体連絡協議会、高萩市相撲連盟、日本加工製紙(株)高萩工場陸上部、小島団地建築協定運営委員会、鳥曽根婦人クラブ、茨城県立松丘高等学校生徒会、国際電信電話(株)茨城衛星通信所、宇部不動産(株)、生化学工業(株)、高萩炭礦(株)、高萩生コン(株)、山之内製薬(株)、KDK(株)、日本加工製紙(株)、関彰商事(株)、板橋利雄、飯尾省二、宮城みきの

《7ホ》

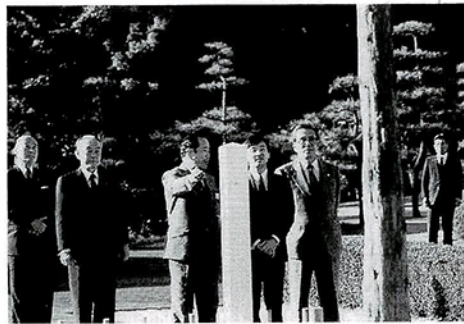
第13回全国育樹祭

(茨城県地方事情御視察)

10月29日(日)



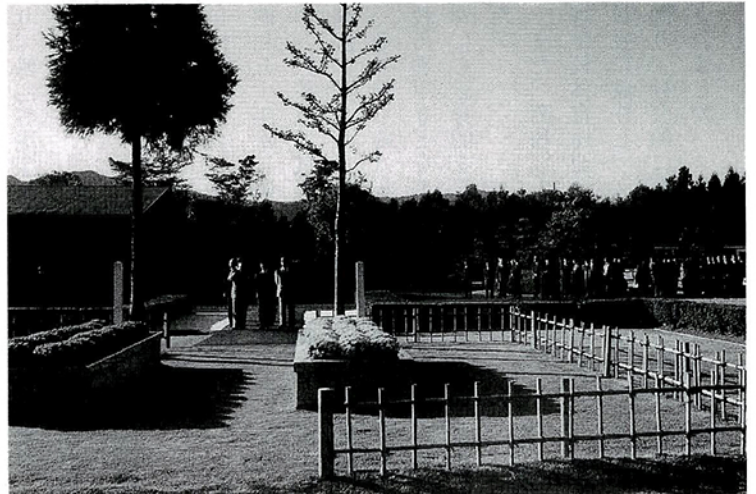
高萩からも約百人のかたが、太子の全国育樹祭お手入れに参加



▲皇太子殿下にご説明をする
鈴木市長(中央)



▲高萩市緑を愛する少年隊もパレードに参加



▲13年前に昭和天皇、皇太后陛下によってお手まきされた
スギといちょうを見学(高萩市森林公園)



▲沿道や駅周辺にはたくさんの人垣ができ、
日の丸の小旗を振って歓迎



▲高萩駅から特急スーパーひたちで帰路に着かれた

茨城県緑化功労者



▲第13回全国植樹祭で表彰された
宇野さん(右)と大都さん(左)

林業部門(造林・育林)

宇野重久さん(下君田)

宇野さんは、戦後、林業後継者として林業に取り組み、昭和二十年代半ばから積極的に造林を進めました。現在では、スギ、ヒノキの人工林が約九五パーセントに達し、立派な森林を造成するに至りました。また、専業林家であり優良材生産を目標として意欲的な林業経営にあたっていることなどが認められました。

環境緑化及び鳥獣保護部門(環境緑化)

大都直光さん(安良川)

大都さんは、四十余年にわたり、教育活動に携わる一方、植物の調査、研究を重ねられ、著書「自然と高萩の植物」を発行するなど、郷土の自然を深い愛情を持って保護に努められました。さらに、県内で初めて野生種の、「エドヒガン」を発見、また、各種サクラの苗木の増植を行い、市内の公共施設などに配布や植樹し、地域の緑化活動に尽力されたことなどが認められました。



▲小宮山楓軒肖像

高萩市文化財保護審議会委員

江尻光昭さん

(本町)

小宮山楓軒の母

水戸藩の郡奉行だった小宮山楓軒は、今でも小川町辺りでは「おん郡様」として語り伝えら

れるほど立派な民政治家でした。

楓軒は、はじめ立原翠軒に学びましたが、のち二十歳のとき史館勤務の身となりました。寛政十一年三十六歳のとき、中山備前守信敬に推せんされて、当時、荒廢のどん底にあった紅葉組(小川町付近)の郡奉行に任命され、二十二年間民政に力を尽しました。

それから楓軒は、農民の救済と激励、生活改善と生産力向上などによる支配農村の復興を目指していききました。生活改善などは、すべて率先垂範の姿勢を

示し、配下の人々からもかなり信頼と協力を受けていたようです。

しかし、彼に対する民衆の信頼を高めた大きな力は、彼の母の人柄にあったようです。

楓軒の母は、名をさのといい、享保十七年(一七三二)多賀郡手網村(原文のまま)の細金伝衛門の娘として生まれました。両親と同様、たいそう誠実勤勉で慈悲深く、奉公人などに対しては、決して上下により差をつけるといようなことをせず、もちろん夫や嫁に対しても円満で、

その人柄は支配村々の人々の尊敬の的になっていました。

文化四年(一八〇七)三月、楓軒の支配村は大火にあい、二千余の家が一時間ほどで全焼し、役所も火災にあいました。楓軒は、この時、人々を励まして力づけ、また部下を督励して救済に全力を尽させたり、藩当局に陳情して可能な限りの手段を講じ、復興事業をなしたとげため、人々は涙を流して喜んだといひます。

翌五年(一八〇八)、楓軒は、幕府からその模範的な民政をた

たえて表彰されました。老母も感激ひとしおだったと思います。次の年、老母の病は、老衰のため世を去りますが、床に臥すと知って、断食や塩だちをして神仏に回復を祈ったり、身代りとなって死のうとした者もいたといわれています。これはおそらく、楓軒の民政方針には、この母の心がひそんでいたと、人々に考えられたためでしょう。右の話は、森銃三氏によって知りえたことであることを付記しておきます。

市

長

随

想

ゆく年くる年

高萩市長 鈴木美子

「光陰の流れいとしむ年の暮れ」

今年もあわただしく過ぎすうちに、師走を迎えました。

新年早々、昭和天皇が崩御され、平成の時代がスタートしましたが、本市にとっても市制施行三十五周年を迎え、市政の節目にあたる意義深い年でもありました。

昭和五十四年に、生活環境整備のため最も大切なプロジェクトとして、単市で発足した公共下水道事業が、その後、日立・高萩・十王広域下水道組合によって事業が進められ、今年四月一日、一部供

用が開始されました。四月二十七日には、四年来、市民同士の交流が進められ、歴史的にも深い関係にある山形県新庄市と、友好都市の盟約を締結しました。

また、昨年、外国市長として初めて高萩市を訪れた、中国蘭州市長の招待に対する答礼表敬のため、十月下旬、市民代表のみなさんと蘭州市を訪れ、盛大な歓迎をうけました。そして、二年間、本市に在住し、洋裁の技術を学んだ研修生が、帰国後、指導者として、また日本のよき理解者として立派に

活躍している姿や、昨年贈呈した葛の種が、立派に成長している姿も確認することができました。

十月二十九日、すばらしい秋晴れの日に、多数の市民のみなさんとともに、皇太子殿下をお迎えできたことも、貴重な思い出でした。

その他、健康づくりの拠点となる保健センター、地区活動と生涯教育の場となる松岡地区公民館の建設も着手され、一昨年からすすめられたC.C.Z.事業も、新しく三三〇隻のヨットを収容するマリナ計画が加わり、その実現に向けて準備がすすめられています。

また、私立大学誘致を含む学園住宅計画や人工スキー場、県・住都公団によるリゾートニュータウン

ン調査の進行、「健康の杜」構想の中核となる温泉利用のクアハウス(保養の家)が、厚生省の認定を受けるなど、昨年の常磐自動車道開通を契機として、新しい発展への可能性を示す、大きな動きがみられた年でもありました。

このような年を送るにあたり、私どもは、市の発展の可能性を大きく支えている海、山、温泉など、天与の自然の恵みに思いをいたすとともに、歴史と伝統に支えられた郷土の姿をつくりあげて来た先人の姿に感謝の心を込めて、すぐれた環境を保護しながら、広大な土地の利用を図ってゆく責任を感じています。

大きな変革は、発展への期待を

もたらすとともに、大きな責任を伴います。「環境保護と土地利用」、この二つを調和させる難しさをさけることなく取り組むことが大切で

新しい年は、これらの問題に、年頭から一生懸命に取り組み、来春早々にも予想されるリゾート法適用地域の中核となつて、あと十年後に迫った二十一世紀をめざした「海と緑を生かした産業文化都市」構想の実現のため、力強く前進を続けたいと思います。本年のご協力に心から感謝するとともに、新しい年が市民のみなさんのご多幸の年であるようお祈りします。

ジャズ体操 クラブ

体を思いっきり動かしたい人、冬の寒さに身を縮めている人、ぜひ、ジャズ体操をのぞいてみてはいかがですか。

毎週金曜日、市民体育館の二階で、「アッ

軽快なジャズミュージックで快感！快汗！！

トサイドダウン」や「愛がとまらない」など軽快な音楽やジャズミュージックが流れるなか、ジャズ体操クラブのみなさんは、汗びっしょりになって体を動かしています。

シリーズ★

高萩市の生んだ作家たち—(13)

神長瑞雲さん
(上手綱)



「襟を披く」 東部謙慎展出品作品



書と翠龍先生と私(書道)

寄稿

書を習い始めて間もないころ、高萩中学で一緒に過ごした同僚が、「このごろ手綱で神長瑞雲という人が、時々新聞に出るが君の親類の人ですか、君は字が下手だから君ではないよな」と言われて、どうしても「それは私だ」と言えずに別れたことがあります。私は、それまで本当に字が下手で、いつも注意されていました。

そんな私が、書道をやったら、少しはうまくなるかと考えていたとき、一緒に勤めていたOさんの勧めで、佐川翠龍先生の下に通うようになりました。三十八歳の秋でした。

そのころは、高萩町にある道場で、製材工場が終わる五時か六時ごろから、週一回の指導がありました。先生は、まだ日展特選受賞前で張

り切っておられ、寸暇を惜しんで書の制作に打ち込んでいたなか、私への指導は本当に足手まといだったと思われたが、月謝もろくにもらわず、それはそれは熱心に指導してくださいました。最初は、三段位までいけばよいと考えていた私が、先生の人柄にひかれて、稽古日以外にも先生の作品制作の手伝いにいくようになり、その間、何もわからない私は、いろいろなことを教えていただきました。夜中に、先生の車に同乗させてもらい、時には夜食をおごってもらって千代田に回り道して送っていただきました。先生は、どんなに遅くても必ず君田にお帰りになって、翌朝は会社の始業前に出社されていました。

書聖誌を発行するようになり、編集の手伝いもさせていただき、現在の書聖会館が新築されて、先生の活躍の場も全国的となり、日展審査員も目前に迫りました。あんなに頑強な先生が、急に病に倒れ還らぬ人となりました。まことに私にとっては、青天の霹靂でした。

私もその間、妻が入院して、時間的にも肉体的にも経済的にもピンチに見舞われたときがありました。先生の励しの言葉と周囲の温かい支えによって、何とか今日まで続けることができました。翠龍先生亡きあと、清原先生を中心に、書聖会は、一致団結して書道研究に邁進しています。

シリーズ「高萩の動物」——(12)

サンショウウオ

益子 治さん(両生類)



▲トウキョウサンショウウオ

地球上に人類が誕生して、およそ三百万年になります。人は「みどりの地球」と呼んだけれど、今日では、自らの手によってだいたい汚れたものにしてしまった感があります。

この様々の環境変化の中で、絶滅していった生物も数多いことは周知のとおりです。一度絶えたものは、二度とこの地球で見ることができません。

だからこそ、三億年も前から営々と生き延びてきた小さい動物を目にしたとき、無性にいとおいさを感じます。その名は、サンショウウオです。

サンショウウオは、両生類に属し、魚類から爬虫類に進化する中間の動物で、陸上生活をしていながら、水と縁がきれず、水中に卵を生むもので、いつもヌメヌメと濡れており、

成体も十二から十六センチメートルほどで、暗褐色、四肢の小さいものです。

現在、日本には一六種類ほどのサンショウウオが生息していますが、高萩市では、二種類(ハコネサンショウウオ、トウキョウサンショウウオ)のみしか生息していません。

高萩市におけるサンショウウオの分布調査を手がけ、産卵期から幼生の二月から七月にかけての、土曜、日曜は、この仕事に費やしてきました。慣れてくると、地図上から予測して出かけ、新生息地発見に結びついたこともありました。また、地域の人々の口こみによって出向いた山里で、とうとう見つからず、帰り支度の寸前に発見したときなどは、今までの疲れが、一気に吹っ飛んでしまう喜びも、一度や二度ではありませんでした。

移動能力の低いサンショウウオにおいて、環境汚染は、死を意味します。私たちは、それがやがて人間の末路に及ぶことを認識し、自然保護への関心を高め、環境保全に努めることが大切であると思います。

★「高萩の動物」では、両生類について詳しく紹介する予定です。



▲太刀割石をバックに

櫻村 甫さんと 淑子さん (中戸川)

堅破山は、高萩市と十王町にまたがる標高658メートルのかこう岩の山です。山頂の黒前神社を取り囲むように、直経約3メートル、高さ約30メートル前後のぶなの原生林が続いています。その手前に、烏帽子石、畳石、舟石など七石と呼ばれる奇岩があり、中でも最も不思議な思いを抱かせる石が將軍石、別名太刀割石です。ボールのような球を横に輪切りにし、上部の石は下部の石のわきに立った状態になって、その直経は約10メートルもの巨岩です。また、昨年、周辺の沢の川砂に、高温超電導物質の材料の一つ、ランタンなど科学技術に貴重な希土類を含む鉱物などが発見され、物理学者から注目を浴びています。

先日、櫻村さんご夫婦は、堅破山を登り、水戸からの登山愛好家のご夫婦に会いました。“旅は道づれ”と言いますが、友だちとなり今でも連絡を取り合っています。「今ごろになって旅の良さを知り、また自然散策に出かけたい」と、声をそろえるお二人です。

堅破山の登山には、「お弁当を持って、奇岩の伝説に触れながら、自然道を踏みしめ、一日かけてゆっくり散策するところ、ぜひ、楽しんでみては」と、淑子さんはすすめています。「米平牧場あたりから堅破山への遊歩道があると最高だよ」と、甫さん。櫻村さんは、春、親戚を集めて、米平牧場付近にある大きな石の上にお弁当を広げ、その高台からの眺望の満足感を味わっているため、二人の間で観光ルートの話しはずんでいました。

(最終回)

一日ゆっくり自然散策が楽しめる堅破山



▲外は北風、中は熱気ムンムンのジャズ体操クラブのみなさん

体操といっても、エアロビクスの動きにも似た、リズムカルな動きです。一つ一つの動きは単純ですが、次第に組み合わせられていくと、クラブのみなさんの顔が真剣になり、額に汗が光ってきます。「軽快なジャズを耳にしながらか、おさえた動きのうちは、早くリズムにのって動きたいと、うずうずしてきますが、テンポが早くなると、手足がバラバラになってしまつて、早く先生のように美しい動きをマスターしたいわ」と、クラブのみなさんの笑顔の聲がかえってきました。

★連絡先：鈴木美子先生 ☎ 二三一五五六四
ジャズ体操クラブは、結成して四年、現在クラブ員も三十歳代から五十歳代までの三十五人と増え、情報交換や趣味の話にもひろがりを見せています。

～茨城の自然一〇〇選から～

高萩の昔話と民俗

「へっぴり嫁」の話

(16)

志田 諄一

い出るとはよくよくの決心であろう。よし、慈悲に上下の区別はない」といって薬を調合してくれた。鬼ばばあは、薬をいただし、安堵の息をついたのであった。

それにしても福富の織部がだましたかと思うと、腹の中がにえくり返るようであった。どうやってでも恨みを晴らそうと、朝な夕な福富を呪い、その不幸の到来を待ちのぞんだ。よく世の人びとは、人の嘆きのもとを生んだ人間は、必ずその嘆きを背負うことになるというが、福富の織部もこのところ悪夢になやまされるが多かった。

のどが乾くので、絶え間なく湯水をほしがり、「ばあさんや、どうかお湯をくだされ」とまるで子供のよう甘えて泣く。飲んだ湯水はそのまま下すから、げっそりと痩せこけ、もとはふくぶくしかった顔も骨がつっぱり、眼もとも落ちこみ黒ずんでしまった。

「これでは命が危ない」と鬼ばばあもあわて出し、典薬頭の和気の清磨のもとに行き、「どうぞあわれな夫に、お薬を調合して下さいまし。あのままでは死んでしまします」と嘆願した。清磨は話を聞き、「あわれな身分の者がここまで願



「餓鬼草子」にみえる排便をする女と子供



第10回 高萩市産業祭 と 第18回 みんなの 消費生活展



▲さあ、おいしい常陸牛のステーキだよ

▲にぎわう市民体育館
産業祭会場

きを見せていました。
また、新庄市の特産品
コーナーや中国洋裁研修
生の本場のギョーザ、シ
ュウマイの「日中友好ふ
るさと味コーナー」など、
盛りだくさんの展示に、
どこも長い列、大好評を
博しました。



▲お姉ちゃん、おいしそうだね

この日、とくに市制施行三十五
周年を記念して行われた常陸牛の
ステーキコーナーでは、二日間
一、六〇〇食(約一頭分)を用意し
ましたが、市価の半値以下の値段
が人気を呼び、飛ぶような売れ

第十五回高萩市民音楽祭
十一月二十六日(日) 文化会館で
第十五回高萩市民音楽祭が開かれ、
市内の保育所や幼稚園、小・中学
校、一般など、十五団体、約六百
人が出演、楽しい演奏や美しい歌
声を披露しました。
会場には、出演者の家族をはじめ、
たくさんの方々が訪れ、盛んに
拍手を送っていました。
鑑賞部門のゲストに、三上明子
(フルート)、山畑松枝(ハープ)、
小池由紀子(ピアノ)の三人が出
演して、市民音楽祭を大いに盛り
上げていました。
また、中国からの洋裁研修生も
中国の歌や日本の「ふるさと」な
どを披露し、楽しい集いになりま
した。

楽しい演奏や 美しい歌声



秋山下地区、石滝・島 名地区で区画整理工事 始まる

花貫川流域地区県営ほ場整備事
業の安全祈願祭が、十一月十八日
(土)秋山下地区で、また、二十日(月)に
は石滝・島名地区で行われました。
県営ほ場整備事業による花貫川
流域の区画整理計画面積は、一五
七ヘクタールです。そのうち今回
の区画整理工事による荒整地工事
が、秋山下地区二七・三ヘクタ
ール、石滝・島名地区三十・三ヘク
タールが新たに加わり、土地改良
区の区域全体の八二パーセントの
地区において、工事が行われるこ
とになります。

さらに今年度は、石滝地区、秋
山中下地区の仕上げ整地工事、秋
山上中地区の残工事、また、同時
に進められている花貫川の河川改
修も新花貫橋から約千メートルの
区間の工事が行われます。



優良納税貯蓄組合及び納税功労者表彰式



優良納税貯蓄組合と
功労者を表彰

十一月十七日(金) 市民センターで、市税納税にご協力をいただいている納税貯蓄組合(団体)十五と、功労者(個人)十人に表彰状が贈られました。

受賞者は、次のとおりです。
(敬称略)

納税貯蓄組合(団体)
○北町一 ○上町下
○島名三南 ○杉岡
○秋山上二 ○下君田宿
○東本町一五 ○宿上
○島名第五の一 ○石滝団地第一
○高萩市医師 ○石滝団地第二

○行人塚二 ○石滝団地第三
○石河原一西
納税貯蓄組合功労者(個人)
安斎 昌子(仲の町)
鈴木百合子(主婦)
細貝 益夫(駒木原)
小池 正人(北町十)
柴田 宗次(高浜三ノ二)
武子 稔(牧場)
佐川 公利(大畑)
佐川 門司(大能)
石 清蔵(北町第六)
角田 秋夫(東雲)
※(一)は、納税貯蓄組合名

中学生の税に関する標語で表彰



日立税務署では、税についてより理解を深めてもらおうと、中学生を対象に、税に関する標語を募集しました。その結果、市内では四人が税務署長賞に、一人が高萩市長賞に選ばれ、十一月二十日(月)、市長室での伝達式が行われました。

日立税務署長賞 (敬称略)
浅井 健児(高萩中)
佐藤 弘毅(高萩中)
和田 薫(高萩中)
佐川寿美子(君田中)
高萩市長賞
増子 博之(高萩中)



早期実現を願い力走 高萩一馬頭間

市民のみなさんの願いが込められた、県道高萩大子線・大子馬頭間の国道昇格をめざす駅伝が、十一月十九日(日)に開かれ、高萩駅をスタートし、栃木県馬頭町役場までの約七十キロメートル(十五区間)を力走しました。

この駅伝には、高萩市陸上競技協会の選手や、各市町村からの走る仲間たち、親子連れなど、幅広い市民ランナー約七十人が参加し、沿道のみなさんに国道昇格の早期実現をアピールしながら、タスキをつなぎました。

この路線が国道に昇格して整備が進められると、県北の海岸部と栃木県の一大観光地を結び、高萩の活性化などにつながるものと期待が高まっています。



▶送水ポンプのスイッチが入られる(通水式)

期待高まる工業用水道が通水

高萩・北茨城広域工業用水道事業

大北川総合開発事業(小山ダム)にあわせて進められてきた、高萩・北茨城広域工業用水道事業の第一期工事が完了し、十一月二日(木)、北茨城市中郷町石岡の同工業用水道企業団の大北浄水場で、関係者など約六十人が参加して通水式が行われました。

この工業用水道企業団は、常磐自動車道の開通に伴い、県北地域の中核都市として期待されている高萩市と北茨城市が協力して、工業化を進める上で必要不可欠である工業用水を、安定的に供給するための事業です。今回は、第一期事業分として、中郷工業団地に、一日最大給水量約一

万一千トン(平成元年十月一日(日)から給水開始するものです)。

将来は、一日約三万二千二百トンの工業用水を確保し、一日最大給水量三万トンを供給するため、平成九年度を目標完成年次にして、一期・二期に分けて事業を進めています。

高萩市と北茨城市には、現在、合わせて八つの工業団地があり、これからの両市の工業の振興を図る上で、大いに期待されています。

工業用水は、主に工場用の冷却水や洗浄水などに使われ、浄水との違いは、濁度が浄水では二度以下に対して、工業用水は十五度以下、また、滅菌処理の義務がないなどです。



ナーは、みなさんや行事、声を紹介たくさん話題をありがとうございます。お寄せください。

課広報広聴係
2111 内線 262)

第16回市民卓球大会

11月5日(日) 市民体育館で、第15回市民卓球大会が開かれ、約200人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

成績(敬称略)

○男子シングルス

優勝 国井 潤一

準優勝 沢畑 勇人

第3位 高橋 玄洋

松本 昭

○男子ダブルス

優勝 鈴木・松本組

準優勝 国井・伊藤組

第3位

高橋・正田組

松岡・石井組

○女子シングルス

優勝 津田 祐子

準優勝 鈴木 功子

第3位 村上 英子

井沢 幸枝

○女子ダブルス

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 村上・井沢組

今野・津田組

羽石・林組

○混合ダブルス

優勝 石井・杉本組

準優勝 国井・田屋組

第3位 杉本・今野組

伊藤・津田組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

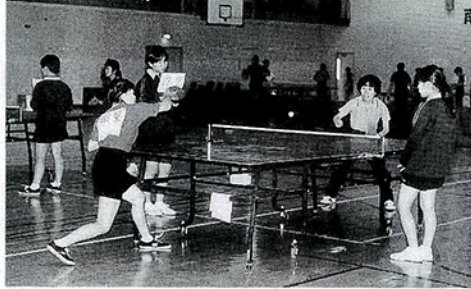
準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組

優勝 鈴木・杉本組

準優勝 国井・伊藤組



ゴルフ教室で基本をマスター

11月7日(火)から7日間の日程で、初心者のための勤労青少年ホーム主催のゴルフ教室が開かれ、通勤帰りの若い男女15人が参加し、熱心に講習を受けました。

参加者のみなさんは、クラブのにぎり方から、ボールの打ち方などの基本を習得したあと、コースでの実技では、悪戦苦闘しながらも、ゴルフを楽しんでいました。

小学生の福祉施設見学会

「子どもの時から福祉の芽」を育てようと、今回初めて、小学生の福祉施設見学会が、11月11日(土)に行われました。参加した市内の小学生約50人は、身体障害者療護施設「愛正園」を訪れ、同園のみなさんが障害を持ちながら、明るく生きている姿を見て生命の尊さを学びました。



市民スケート教室

11月11日(土)、18日(土)、25日(土)の3日間にわたり、高萩ビーチガーデンスケート場で、市民スケート教室が開かれ、小・中学生など約100人のみなさんが参加しました。

初日は、慣れないスケートぐつでころぶ姿が見られましたが、基本を覚えると、お互いに声を掛け合いながら、リンクを滑っていました。



石滝老人クラブと

子どもたちのふれあい事業

11月12日(日) 石滝公民館で、石滝老人クラブのみなさんと、地域の子どもたち約40人が参加して、竹馬や竹細工づくりに挑戦しました。

子どもたちは、竹馬のつくり方から乗り方を老人クラブのみなさんに丁寧に教えてもらい、快活な笑い声が響いていました。



ボランティア交流会

第6回ボランティア交流会が、11月10日(金)、文化会館で開かれ、11団体のボランティアの実践者、約100人が参加しました。

県社会福祉協議会の井坂悦雄先生による、「これからの社会福祉」と題しての講演、そして、各団体の活発な意見交換が行われ、それぞれの地域活動の理解や交流を深めました。



ふれあいスポーツフェスティバル

11月5日(日) 市営野球場で、第2回高萩市ふれあいスポーツフェスティバルが開かれ、約300人のみなさんが参加しました。

今回は、体の不自由なみなさんも、車イスを使って参加し、グランドゴルフやフライングディスクゴルフなどに挑戦し、「がんばって」の声援を受け、なごやかな一日を楽しんでいました。



第14回老人クロッケー大会

11月7日(火) 小雨ふるなか市営野球場で、第14回老人クロッケー大会が、23クラブ(46チーム)約300人が参加し、日ごろの練習の成果を競いました。

成績(敬称略)

優勝 秋山益社会

準優勝 島名高齢者クラブ

第3位 南松寿会





ブロンズ像二十五点が野外展示

昨年のロダン大賞展で優秀賞受賞の「女の方舟・曙」を始め、「ふね」愛の道」など、山崎猛先生の代表作二十五点が、十一月三日(金)から十二日(日)まで、大心苑の広大な庭園に野外展示され、市内外のみなさんの話題を呼びました。

ブロンズ像をじかに触れられ、また、山崎先生のふるさと高萩の自然と、ブロンズ像のコントラストの美しさを堪能できるぜいたくな野外彫刻展でした。



火災予防運動に一役

11月9日(木)からの秋の火災予防運動に伴い、高萩市・十王町事務組合消防本部では、10日(金)、市内のデパートに勤務する藤田祐三子さんを、一日消防長に任命し、市内の寝たきりのお年寄り宅を訪問して、ミニアラーム(簡易火災速知器)を取り付けました。

また、高萩市、十王町の各事業所の協力を得て、防火パレードや、駅前などでパンフレットや風船などを配り、市民のみなさんへ火災予防を呼びかけました。

しみんの



市民のひろばのコーナーの身近に起こった話題しています。今回も、お寄せいただきありがとうございました。次回もどうぞお待ちしております。市民活動 ☆あて先……市民活動 (☎23-

中国の研修生、大ハッスル

10月15日(日) 大心苑で、茨城県洋裁高等職業訓練校に入校した中国技術研修生15人を迎え、約150人が参加して、日本加工製紙(株)高萩工場の総合レクリエーション大会が開かれました。

日本語が分からないながらも、ボール送り、なわとびなどのスポーツを通して、楽しく和気あいあいの一日を過ごしました。



高萩チームが県代表で出場

10月29日(日)から11月1日(火)までの4日間、愛媛県伊予市の総合運動公園で開かれた、第2回全国スポーツ・レクリエーション祭に、昨年の県民フェスティバルで好成績を収めた高萩チームが、県代表としてゲートボールに出場しました。全国から96チームが出場し、高萩チームはベスト16まで進み、日ごろの練習の成果を発揮しました。



山本直純先生を迎えた講演会

音楽の山本直純先生を講師に迎え、11月12日(日)、秋山中学校の体育館で、創立30周年記念式典とその講演会が開かれました。

演題「クラシックの秘密を探る」の山本先生の講話は、先生の持ちまへの明るさと、豊かな知識で、集まった生徒や父兄約800人をわかせていました。



人気を集めた埴輪展

高萩から出土した「大耳の男」「あごひげの男」の埴輪が、東京大学総合研究資料館から里帰りし、11月1日(木)から12月3日(日)まで歴史民俗資料館に特別展示され、市民のみなさんの人気を集めました。

また、同時に高萩の歩み写真展、市民のみなさんから寄せられた炭鉱資料展、小場遺跡展も同時に開催し、高萩のあゆみをたどりしました。



郷土芸能交流発表会

今年の4月に友好都市盟約を締結したのを記念して、山形県新庄市の新庄おどり睦会などのみなさん約40人を迎えて、郷土芸能交流発表会が、11月19日(日)、文化会館で開かれ、会場にはたくさんのみなさんがつめかけました。

新庄市では、豊作を願う「萩野鹿子踊り」などを、高萩市では、高萩小唄などを披露し合い、両市の郷土芸能の発表を通して交流を深めました。



文化祭と菊花展

11月3日(金)から5日(日)まで、中央公民館と文化会館を会場に、高萩市文化祭が開かれました。愛生園園生の作品や、美術、俳句など卓越した作品の展示や、日舞、琴などの多彩な発表など、訪れたみなさんは、感心しきりでした。また、11月2日(木)から15日(木)まで、春日町児童公園で菊花展も開催され、みごとに咲きそろった花に、訪れた人は足を止めていました。



寒波から水道管を守りましょう

寒気いよいよ厳しくなりましたが、お宅の水道管はだいじょうぶでしょうか。毎年、この時期になると、寒波により水道管が凍ったり、破裂したりする事故が多発します。思わぬ出費を防ぐため、ちょっと点検してみてください。

凍りやすい水道管

- ・むき出しになっている水道管
- ・北側にある水道管
- ・風あたりの強いところにある水道管

凍るのを防ぐには

水道管に布などを巻いて保温し、その上からビニールテープなどをしっかりまきつけ、保温材がぬれないようにします。

凍って水が出ないとき

自然に解けるのを待つか、ぬるま湯でゆっくり解かしてください。急に熱い湯をかけると、管やじゃ口が破裂することがありますので注意してください。

水道管が破裂したとき

メーターボックスの中のバルブをしめて、指定水道工事店に修理をお申し込みください。

水道メーターのガラス割れにご注意

夜の冷えこみが厳しくなると、日陰で風あたりの強い場所にある水道メーターや、冬の間水を使用しないか、使用量の少ない家庭の水道メーターは凍りやすく、ガラスの割れる事故が多くなります。使い古しの毛布や布切れなどをビニール袋に入れて、メーターボックスの中のメーターを、すきまなく包み、内部に寒気が侵入しないように保温しましょう。

※詳しくは、水道課へ ☎23-2111 内線 372

大切なあなたの年金

二十五年は満期ではありません

「二十五年間保険料を納めれば、あとは納めなくてもいい」などと、一部に誤解されている人もいらっしゃるようです。

年金は、加入して必要な期間の保険料を納めなければ受けられませんが、二十五年納めても、老齢基礎年金を受けるための最低条件を満たしたにすぎないのです。

未納期間に応じて低くなる年金額

老齢基礎年金は、二十歳から六十歳までの全期間保険料を納めて、満額の年金が支給されるのです。

こんなにちがう年金額

	10	20	30	40	50	60	70(万円)
40年納付							627,200円
35年納付 5年未納							548,800円
30年納付 10年未納							470,400円
25年納付 15年未納							392,000円

(金額は、いずれも年額)

40年間納めた人と、25年間しか納めなかった人の年金額は、図のとおりです。

(昭和63年度)

※24年納付し、その後未納にした場合…支給額〇円(このままでは年金は受けられません。)

なお、昭和十六年四月一日以前に生まれた人は、昭和三十六年四月から六十歳になるまでの全期間納めると、満額の年金を受けられることができますが、納め忘れがあれば、やはり減額されてしまいます。

納め忘れは危険信号

保険料の納め忘れがあれば、その分の年金額が減額されてしまいます。

また、場合によっては、老齢基礎年金や、万一の時に支給される障害・遺族基礎年金などが受けられなくなることもあります。老後と万々に備えるため、保険料は、毎月きちんと納めましょう。

※詳しくは、保険年金課へ ☎二三二二二 内線二三三

お元気ですか保健婦です

おせち料理

『牛乳茶巾しぼり』

はいかが？

今年も一年が過ぎようとしています、いかがでしたか？

さて、今回は、牛乳を使ったおせち料理を紹介します。簡単ですので、作ってみてください。子どもからお年寄りまで喜ばれます。

材料

- さつま芋 300g
- 牛乳 1½カップ

(または、スキムミルク大さじ6を水に溶かして、カップ1½にしたもの)

- 砂糖 40g
- バター 30g
- 甘納豆 大さじ2～3

◎さつま芋は、皮を厚めにむき、水によくさらすことが、色よく仕上げるポイントです。

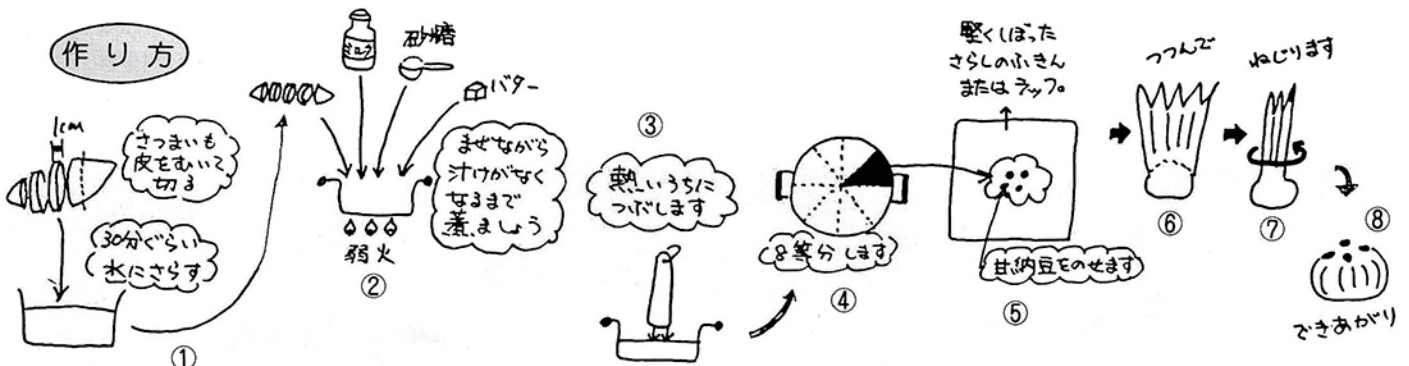
甘納豆の代わりに、レーズンを加えたり、栗の甘露煮をのせて絞ってもよいでしょう。

栄養価 1個分

熱量	91.6kcal
たんぱく質	1.8g
カルシウム	51.0mg
塩分	0.1g

ぜひ、おためしください。では、良いお年を。

作り方



所得控除額などが引き上げられました

控 除 の 種 類			控 除 額	
			平成2年度	平成元年度
イ 基 礎 控 除			300,000円	280,000円
ロ 配 偶 者 控 除	一 般 の 控 除 対 象 配 偶 者		300,000円	280,000円
	老 人 控 除 対 象 配 偶 者		350,000円	290,000円
	同 居 特 別 障 害 者 で ある控除対象配偶者	一 般 の 控 除 対 象 配 偶 者	510,000円	360,000円
		老 人 控 除 対 象 配 偶 者	560,000円	360,000円
ハ 扶 養 控 除	一 般 の 扶 養 親 族		300,000円	280,000円
	特 定 扶 養 親 族		350,000円	280,000円
	老 人 扶 養 親 族	同 居 老 親 等 以 外 の 者	350,000円	290,000円
		同 居 老 親 等	420,000円	330,000円
		一 般 の 扶 養 親 族	510,000円	360,000円
		特 定 扶 養 親 族	560,000円	360,000円
		同 居 老 親 等 以 外 の 老 人 扶 養 親 族	560,000円	360,000円
		同 居 老 親 等	630,000円	360,000円
ニ 障 害 者 控 除	一 般 の 障 害 者		260,000円	240,000円
	特 別 障 害 者		280,000円	260,000円
ホ 老 年 者 控 除			480,000円	480,000円
ヘ 寡 婦 (寡 夫) 控 除	一 般 の 寡 婦		260,000円	240,000円
	特 別 の 寡 婦		300,000円	240,000円
	寡 夫		260,000円	240,000円
ト 勤 労 学 生 控 除			260,000円	240,000円

平成2年度の個人市民税が改正され、所得控除額が、それぞれ次のように引き上げられました。

(注)

1. 特定扶養親族とは、扶養親族のうち、年齢16歳以上23歳未満の人をいいます。
2. 特別の寡婦とは、寡婦のうち、扶養親族である子を有し、かつ合計所得金額が300万円以下である人をいいます。
3. 平成2年度から創設されたものにかかる平成元年度の控除額は、元年度における控除額を記載したものです。

その他の主な 個人市民税の改正

(1) 配偶者特別控除額の引き上げ
配偶者特別控除が受けられる人の合計所得金額要件が、1,000万円以下(これまでは、800万円以下)に引き上げられるとともに、控除額が最高300,000円(平成元年度は140,000円)に改められました。

(2) 白色事業専従者控除額の引き上げ

白色の事業専従者控除額のうち、納税者の配偶者に係る控除額が、80万円(これまでは60万円)に、それ以外の者に係る控除額が47万円(これまでは45万円)にそれぞれ引き上げられました。

◎その他、家内労働者などの事業所得などの所得計算の特例の適用延長など、諸々の改正がされました。

家屋を取りこわしたら、 減失届けを



家屋の取りこわしをして「家屋の減失届」を提出していない人は、12月25日(月)までに、届け出をしてください。

届け出の用紙は、税務課に用意してあります。

身近な税

(最終回)

⑫

個人市民税 給与所得者の

～その5～

年末調整について

年末調整は、原則として給与の支払いを受けているすべての人について行いますが、例外的に年末調整の対象とならない人もいます。これを区分して示すと次のとおりです。

A. 年末調整の対象となる人 (次のいずれかに該当する人)

- ① 1年を通じて勤務している人
- ② 年の途中で就職し、年末まで勤務している人
- ③ 年の途中で退職した人のうち、次の人
イ、死亡により退職した人
ロ、著しい心身の障害のため退職した人で、その退職の時期からみて、本年中に再就職ができないと見込まれる人
ハ、12月中旬に支給期の到来する給与の支払いを受けた後に、退職した人
ニ、いわゆるパートタイマーとして働いている人などが退職した場合で、本年中に支払いを受ける給与の総額が100万円以下の人
- ④ 年の途中で、海外の支店へ転勤したことなどの理由により、非居住者となった人

B. 年末調整の対象とならない人

(Aの表に掲げる人のうち、次のいずれかに該当する人)

- ① 本年中の主たる給与の収入金額が、1,500万円を超える人
- ② 2か所以上から給与の支払いを受けている人で、他の給与の支払者に「給与所得者の扶養控除等(異動)申告書」を提出している人
- ③ 年末調整を行うときまでに、「給与所得者の扶養控除等(異動)申告書」を提出していない人
- ④ 災害により被害を受けて、本年分の給与に対する源泉所得税の徴収猶予、または還付を受けた人

年末調整により1年間の所得税の納税が完了している人は、確定申告の必要はありません。しかし、医療費控除や住宅取得等特別控除などの控除を受けようとする人や、年末調整の対象とならない人は、確定申告をすることになります。



会員を募集します

やる気のある人、技能をお持ちの人の入会をお待ちしています。

特に、庭木の手入れ、簡単な大工仕事のできる人は大歓迎です。あなたの豊かな経験と能力を、ぜひ、シルバー人材センターで生かしてください。

入会の手続き 同センターに備え付けの入会申込書に記入して、年会費 500 円を添えて申し込みください。

参加の輪を拡げよう

こんな仕事の依頼をお待ちしています

冬の間は、今まで仕事の大半を占めていました屋外作業が少なくなってきましたので、これから屋内でできる次のような仕事がありましたら、ぜひ、同センターをご利用ください。

- 襖や障子張り
- 賞状・宛名書き、年賀状書き
- 屋内清掃
- 和裁、手先の仕事
- 屋内での管理的な仕事
- その他、高齢者にふさわしい屋内作業

社シルバー人材センターのしくみ

今年 4 月に、社団法人シルバー人材センターとして設立以来、たくさんの依頼を受けてきました。

同センターは、高齢者にふさわしい臨時的、短期的な仕事を、企業、家庭、官公庁などから請け負い(または委任)、これを会員に提供し、仕事の内容と実績に応じて報酬(配分金)を支払う仕組みで運営している、公共的な団体です。

※詳しくは、(社)シルバー人材センター(本町1-100 旧消防署2階)へ

☎23-7911

ロータリー財団奨学生を募集します

外国で専門分野の勉強をしながら、国際理解の親善使節として使命を果し得る青年男女に、選考のうえ奨学金が提供されます。

奨学金 往復旅費、1 学年間の教育費、生活費、雑費

資格 健康で親善使節としての素質などをもち、下の表の条件に合う人

奨学金の種類	大 学 院	大 学	職 業 研 修	障害者教師	ジャーナリズム
教 育 程 度	学士号または同等程度	大学 2 年終了	高校卒	高校卒	高校卒
職 歴	不要	不要	最少 2 年	最少 2 年	最少 2 年
年 齢	18~30 歳	18~24 歳	21~50 歳	21~50 歳	21~50 歳
既 婚 ・ 未 婚 の 別	不問	未婚	不問	不問	不問

選考期日 平成 2 年 6 月

※希望される人は、平成 2 年 4 月末までに、高萩ロータリークラブ(常陽銀行高萩支店内)へ申請してください。

☎24-0505

国の進学ローンを ご利用ください

進学に必要な資金などに、国の進学ローンで、金利が低い国民金融公庫の「進学一般貸付」や「郵貯貸付」、雇用促進事業団の「財形進学融資」をご利用ください。

○融資の概要

融 資 額	1 進学者あたり 100 万円以内
返済期間	5 年以内(交通遺児家庭および母子家庭の人は 6 年以内)なお、上記期間内で 1 年以内の据置きもできます。
利 率	年 5.7% (利率は変わることがあります。)
保 証	保証人(1 名以上)
返済方法	毎月元利均等返済
そ の 他	配偶者の人に連帯借主になっていただく場合があります。

※詳しくは、国民金融公庫日立支店(日立市幸町1-4-1)へ ☎(0294)24-2451

文化会館もよおしもの

ものまね名人会
年忘れお笑い

パフォーマンショー

と き 12月17日(日) 午後 6 時開演
入場料 2,500 円(全席自由席)
(当日 500 円増)

出 演 栗田貫一、松村邦洋、俵山栄子

★入場券発売中

プレイガイド

田所書店、仲屋書店、深谷書店、
(有)上島名ねもと、コミュニティス
トア高浜やおけん、野木商店、ピ
アノマート(磯原)、日立市民会館、
文化会館(☎23-7411)

高萩の四季

第 6 回市民ギャラリー

高萩の四季を題材とした写真、絵画、
短歌、俳句などの展示、発表をします。

と き 3 月 17 日(土)から 25 日(日)まで
午前 9 時から午後 7 時(最終
日は午後 4 時まで)



●詳しくは、市民活動課 ☎23-2111 内線 262

高萩市のシンボンカラー を募集中

応募規定 はがきに高萩の白ヌキ文字
を書き、色をぬってください。

応募方法 12月27日(木)までに、色の名
前、選んだ理由、住所、氏名(ふ
りがな)、年齢、職業(学校、学年)、
電話番号を記入して応募ください。

応募できる人 市内に居住、または、
通勤、通学の人

※応募・問い合わせ先 〒318 高萩市
本町1-100 高萩市役所市民活動課内
「高萩市のシンボルカラー」選定委員
会事務局 ☎23-2111 内線 262





1月の日曜当番医

7日	諸原医院	高戸	23-3113
14日	立花医院	東本町	22-3512
	十王医院	十王町	32-3266
21日	宍戸医院	安良川	23-2318
28日	内田病院	大和町	22-2137

時間は、いずれも午前9時から午後4時までです。

●ご相談にどうぞ

12月の市民相談室での行政相談、交通事故相談は、次のとおりです。(無料です)

▶行政相談：12月14日(木) (午後1時から3時)

▶交通事故相談：12月20日(木) (午前10時から午後3時)

名刺交換会

新年の名刺交換会を開催しますので、お申し込みください。

とき 1月4日(木) 午前11時

ところ 文化会館

会費 1,500円(当日払い)

申込先 市長公室 秘書課

※申し込みは、住所、氏名、職業をはがきを書いて、12月15日(金)までに秘書課へ

☎23-2111 内線 241

年末年始の市役所業務の休みについて

市役所の業務は、12月29日(金)から1月3日(木)まで、年末年始のため休みになります。

ただし、この期間中、午前8時30分から午後5時まで、婚姻・出生・死亡届けに限り受け付けをします。

※詳しくは、職員課へ

☎23-2111 内線 251

年末年始のごみの収集

12月は、収集カレンダー通り30日(土)まで収集します。年末は、大量にごみが出ますので、一度に出さないよう計画を立ててごみを出してください。

なお、1月は、4日(木)からになりますので、ご協力ください。

自己搬入のごみの受け付け

12月28日(木)から30日(土)、そして、31日(日)も平常通り受け付けますので、午前8時30分から午後4時までに搬入してください。

1月は、4日(木)から受け付けます。

◎持ち込む時の注意

こみ合いますので、手間取らないよう、可燃・不燃・資源・粗大ごみの4種類に分けて、降ろせるように積んでください。分け方については、収集カレンダーを参照してください。なお、タイヤ、廃油、大量の廃プラスチックなどの産業廃棄物は、受け付けません。

ごみ収集の一部追加

収集日	地区	種類
1月29日(月)	上手網・下手網・行人塚・石河原・小島団地	不燃ごみ 粗大ごみ
2月3日(土)	大和町・春日町・本町	粗大ごみ

※詳しくは、北部衛生センターへ

☎23-6886

し尿のくみ取りは早めに

毎年、12月中旬ごろに申し込みをされても、混雑のため年内に収集ができない場合がありますので、早めに次の収集業者に、直接お申し込みください。

○高萩清掃社 ☎22-2653

○飯島清掃社 ☎22-2263

○十王清掃 ☎32-5505

し尿収集は、12月30日(土)まで、1月4日(木)開始となります。

※詳しくは、花貫衛生センターへ

☎22-4318

教育委員会から ☎23-1131

第3回高萩市青少年美術書道展を開催

とき 1月11日(木)から15日(月)の5日間(14日(日)、15日(月)は9時～16時30分、その他は9時～20時30分)

ところ 中央公民館

一般展示 市内幼稚園、保育所(園)、小・中学校、高等学校の絵画

及び書(硬筆を含む。)の展示(幼稚園、保育所(園)は絵画のみ)

特別展示 中国蘭州市の児童による絵画・書の展示

入場料 無料

成人式は平素の服装でどうぞ

来年、1月15日(月)の午前10時から文化会館で「第36回成人式」を行います。

今回も、県下一体となって簡素化運動を実施することになりましたので、華美な服装はできるだけ避けて“平素の服装”での式典出席をお願いします。

成人式を迎えられる人は、昭和44年

4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた人です。

成人される人には、直接はがきで通知することになっていますが、市出身者で帰省しているかた、または、通知もれのあった成人該当者にも出席されるようお誘い願います。

親子スキー教室で楽しみませんか

とき 1月5日(金)、6日(土)

ところ 栗子国際スキー場

内容 親子で楽しむスキー入門

対象者 親と子(子は、小学生以上)

募集人員 20組(40人)

受講料 21,000円(親子で)

申込先 12月12日(火)から20日(水)までに、受講料を添えて、市民体育館へ(定員オーバーのときは抽選) ☎23-2552

第15回新春高萩市民マラソンへ参加ください

とき 1月21日(日)

ところ 市役所、開会式午前9時

種目別 2km、5km、10km

出場資格 市内に居住、または、市内の事業所、学校に勤務、通学している人(市外の方は、オ

ープン参加として認めます)

参加費 ●一般、親子、オープン

●小・中学生、高校生 300円

申込先 1月10日(水)までに、参加費を添えて、市民体育館へ



私の散歩道



善意ありがとう

- 高萩商事(株) 64,930円 チャリティバザー益金
- 泉 帯子さん (東本町) 20,000円 社会福祉へ
- JR高萩駅 1,463円 社会福祉へ
- むつみ手芸クラブ 2,000円 バザー益金の一部
- 手芸クラブ 3,000円 社会福祉へ
- 飛田 康男さん (本町) 18,134円 社会福祉へ

❖ 献血だより ❖

◎ご協力をお願いします。

と き	と ころ	時 間
1月5日 (金)	駅東口・西口	午前10時から 午後4時まで

◎10月の献血者実数です。

と き	と ころ	献血者実数
18日(水)	新日本鍛工(株) 助川電気工業	78人
20日(金)	駅東口・西口	181人
29日(日)	高萩協同病院	162人

12月の納税

固定資産税 (第3期)
都市計画税
国民年金 (12月分)

12月25日(月)までです

◀ 人口と世帯 ▶

	前月比
人 口 35,421人 (+49)	
男 17,440人 (+13)	
女 17,981人 (+36)	
世 帯 10,873世帯 (+46)	

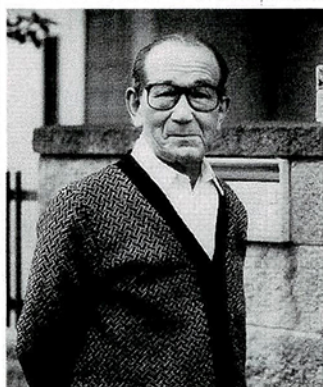
(平成元年11月1日現在)

鏡神社の脇の道を南へ下りると、十九夜さまが祭られています。今も2月19日には、ご馳走を供え、妊婦の安産などを祈願します。

女たちの思いが風にのって、ヒタヒタと送り届けられるような、不思議な気持ちになるのです。

高萩美術協会会員

豊田 和子



長い廊下

阿 蘇 華 一

長い廊下の
窓ガラス
すずめ色時
のぞいてる

陳列棚の
土器・土偶
欠けたまんまに
粘土の色

同時に、作詩をいはらき新聞の文芸欄「木星」に投稿を続けていました。正月号の成績発表では、常に一、二位を占めていた実力に、

佐藤さんの詩は、飾らないなかで妙なる香りを持つ、梅の木、梅の花にたとえた詩人もいます。作詩は容易ではなく、絶えず苦しきや虚しさがあり、頭を悩ますこともあります。生活や会話の中で、また、以前見たことが、後で発酵し「詩」となります。作詩には、特に、イメージを大事にしている佐藤さんです。

佐藤さんの詩は、飾らないなかで妙なる香りを持つ、梅の木、梅の花にたとえた詩人もいます。

ペンネーム「阿蘇華一」、そのゆらいは、「読んでよく解からない」と読者に言われ、解説すると、「あ、そっかあ」と茨城弁がかえってき

その選者から声がかかり、「木星」また、詩誌「時雨」の同人としての活躍が始まり、県の詩壇にとつてかけがえのない貴重な存在となりました。

【平成の新しい時代が幕明けたと思つたら、あっ」という間に一年間が経過し、もう師走を迎えてしまった。今年一年間は、写真集「高萩」にはじまり、終わったといつてもよいでしょう。現在、市役所で一部三千円で好評発売中！お借りした写真も、十二月中には整理してお返ししたいと気持ちだけ走る師走です。(春)

【毎日、高萩市のシンボルカラーの応募が届いている。五歳の女の子からも届いている。なぜこの色？と、その理由を読むと、ハ、ナルホド、と感心させられる。きつと、いろいろ悩みながら色を選んでぬられるのだらう。みなさんのふるさと高萩を思う真剣さに、感心させられる毎日だ。

(ヒロ)

梅のうに香り立つ詩

佐藤 哲蔵 さん (高浜町)

「だれに習ったのでもなく、書くことが好き。特に、民謡詩は、五、七、五などの字数の繰り返し、すなわち音数律が魅力ですね」と、作詩活動を続けている佐藤さんは、県内でも数少ない創作民謡詩人です。

宮城県に生まれ、終戦後、高萩に住み、事務員として松岡中学

校に勤務しました。職場の先生たち、「誉められるのがうれしくて」と、作詩をしてみました。

校長は、その実力を認め、講師として生徒たちの作文の指導をさせてくれました。なかでも、「応援歌づくりや放送劇づくりは、生徒たちとの楽しい思い出、高校へ進学した生徒から、演劇部へ入った

との知らせを受けたりすると、自分のやったことが生かされたような気持ちになりました」と、佐藤

野口雨情、北原白秋らが位置づけた創作民謡詩(伝統民謡の音律をつかい時代をやさしい言葉で表現)の流れをくむ佐藤哲蔵さんは、これまで「草の声」「風媒花」などの詩集を発行、来春には詩集「石は消えない」や歌集の発行を予定しています。

編集後記

【平成の新しい時代が幕明け

